

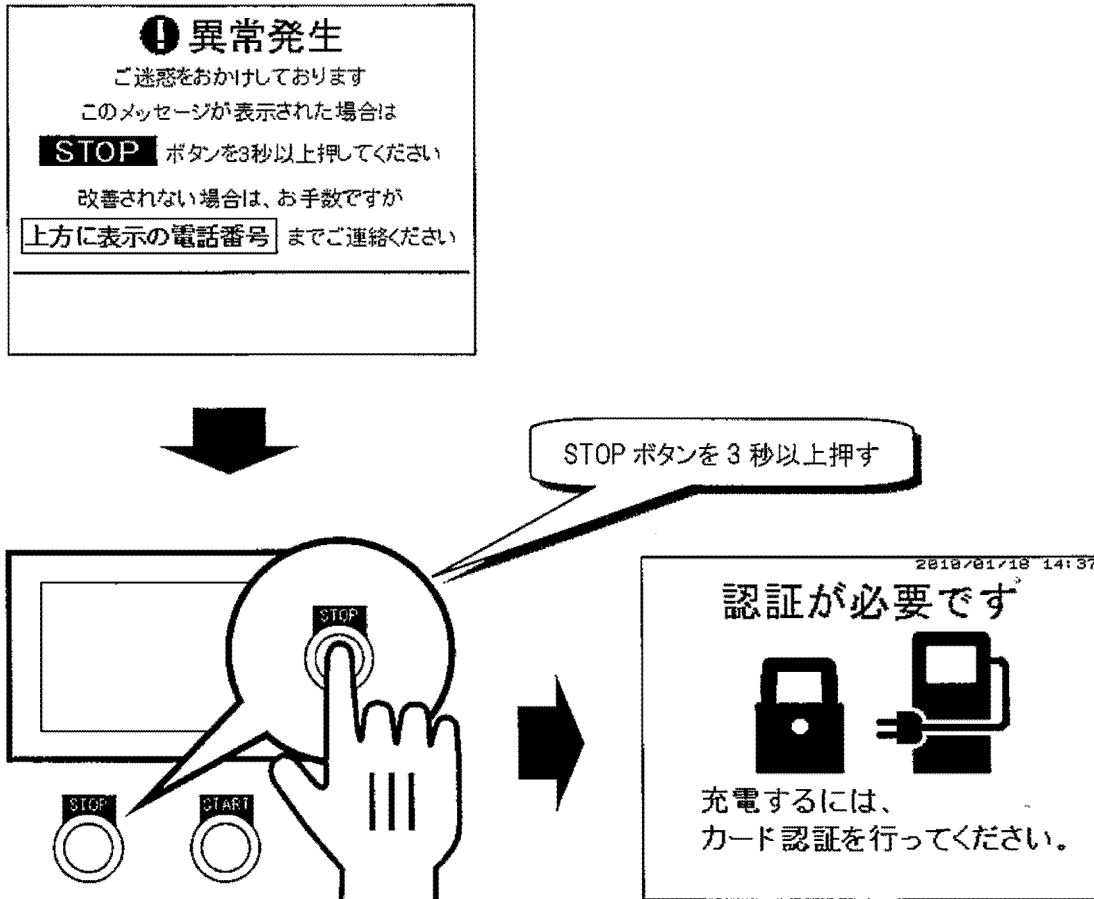
使用方法

① 電源投入と準備

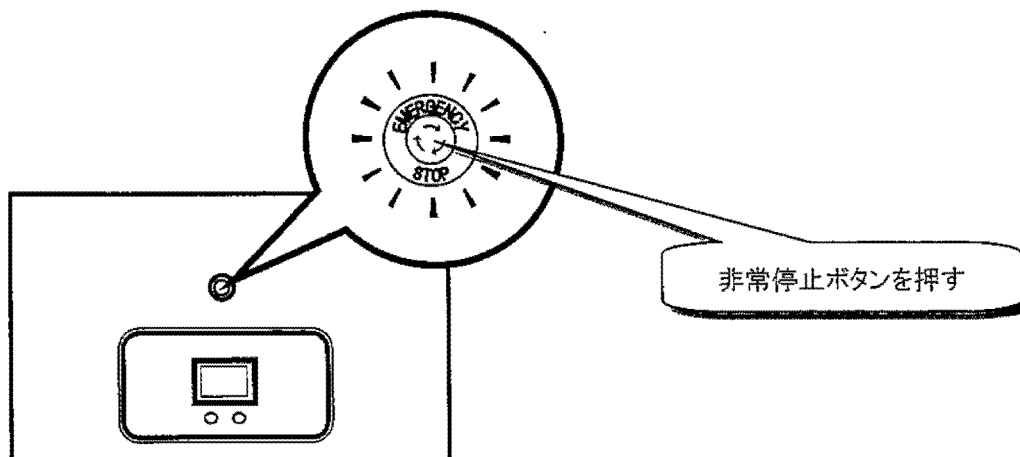
本器の前面扉開閉用ドアロックを、添付の鍵で解除して、前面扉を開けてください。次に内部扉用開閉ドアロックを添付の鍵で解除して、内部扉を開けてください。向かって右下に有る漏電ブレーカを ON すると電源が投入されます。その後、内部扉と前面扉を閉め、それぞれの開閉ドアハンドルの施錠を行ってください。

② タッチパネルのエラー表示リセット

タッチパネルには、「異常発生」のエラー表示が発生します。「STOP」ボタンを 3 秒以上押しすとリセットされ、『認証待ち』画面となり、準備完了となります。



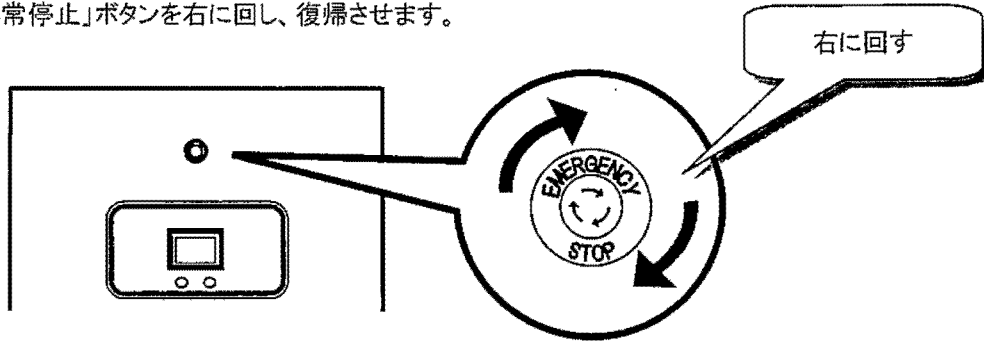
非常事態が発生した場合は、すぐ盤面の「非常停止」ボタンを押してください。



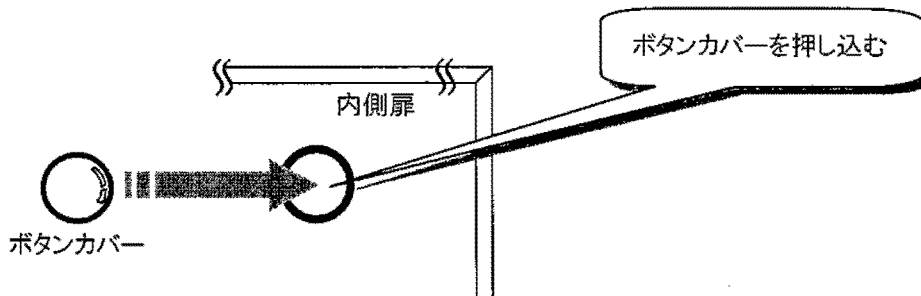
注意) ボタンカバーが「非常停止」ボタンの前面にあります。そのまま押し込んでください。

非常停止ボタンを押したときの復帰方法

1. 前面扉を開いて「非常停止」ボタンを右に回し、復帰させます。



2. ボタンカバーを前面扉内側から取り付けます。



3. 前面扉を閉じて、「STOP」ボタンを 3 秒以上押すと『認証待ち』画面に戻ります。

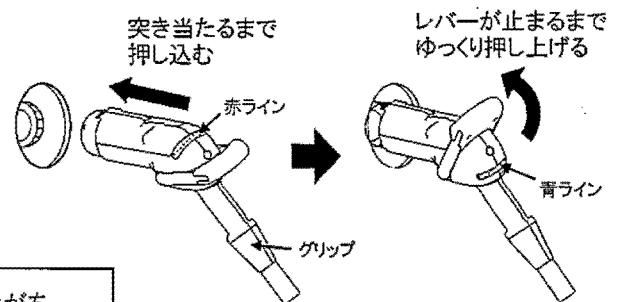
③ 車両の充電準備

車両の操作方法に従って、車両の充電ソケットの電極部が見えるように(充電可能な状態に)します。

- ④ 降雪対策カバーを上げて、充電コネクタを取り出す。

- ⑤ 充電コネクタを車両の充電ソケットに装着する。

1. レバーが青ラインまで下がっている状態でグリップ部を持ち車両側ソケットに突き当たるまでしっかりと差し込みます。
2. グリップを持った状態で、レバーを赤いラインが見えなくなるまでゆっくり押し上げます。
※動きがスムーズでない場合、一度戻してください。

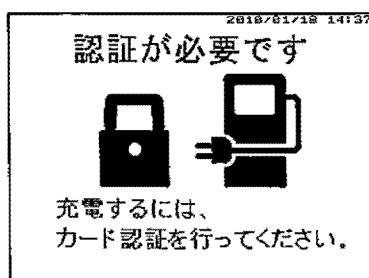


注意

充電コネクタを落下させると、足のけがを招くばかりでなく故障の原因になります。

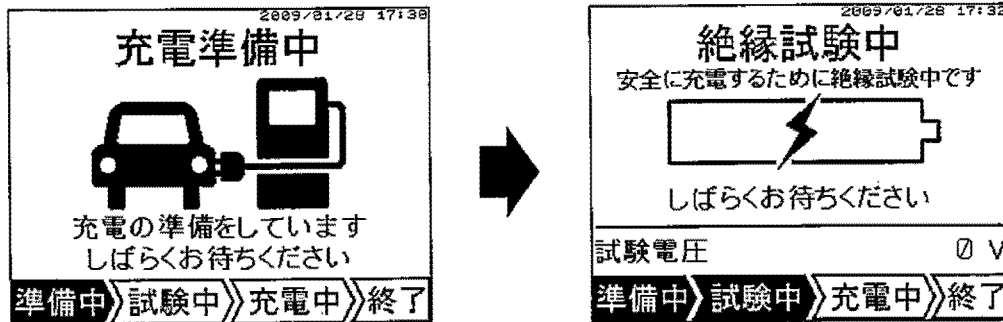
⑥ カード認証

カードを「カード認証機」に当てて、認証して下さい。画面が『充電できます』画面に変わります。



⑦ 充電開始

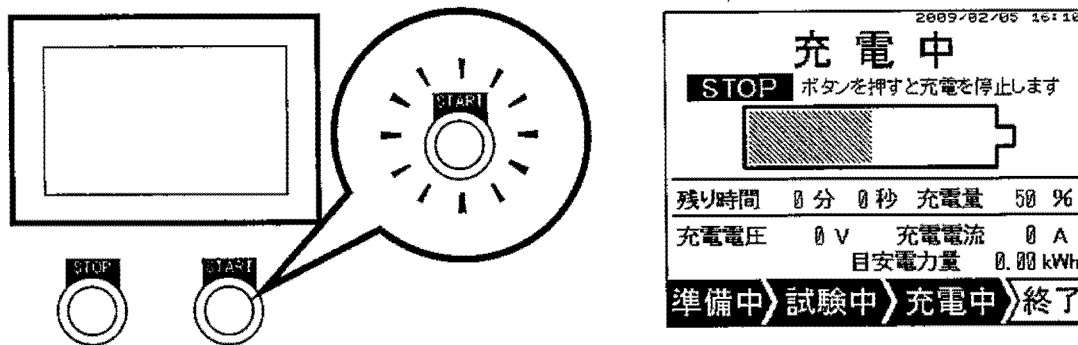
「START」ボタンが青色に点灯していることを確認したのち「START」ボタンを押します。
 充電コネクタのLEDが赤く点灯し、「START」ボタンは、点滅してコネクタがロックされます。
 タッチパネルの画面が、『充電準備中』に変わり、車両との通信などのテストが自動的に行なわれ、
 状態がタッチパネルに表示されます。



⑧ 絶縁試験終了後、タッチパネルの画面が、『充電中』に変わり、充電を開始します。

状態表示は、充電量(棒状の表示と%)、残り時間(分、秒)、電圧(V)、電流(A)、目安電力量(kWh)を示します。

注) 目安電力量は、充電したおおよその電力量を示します。



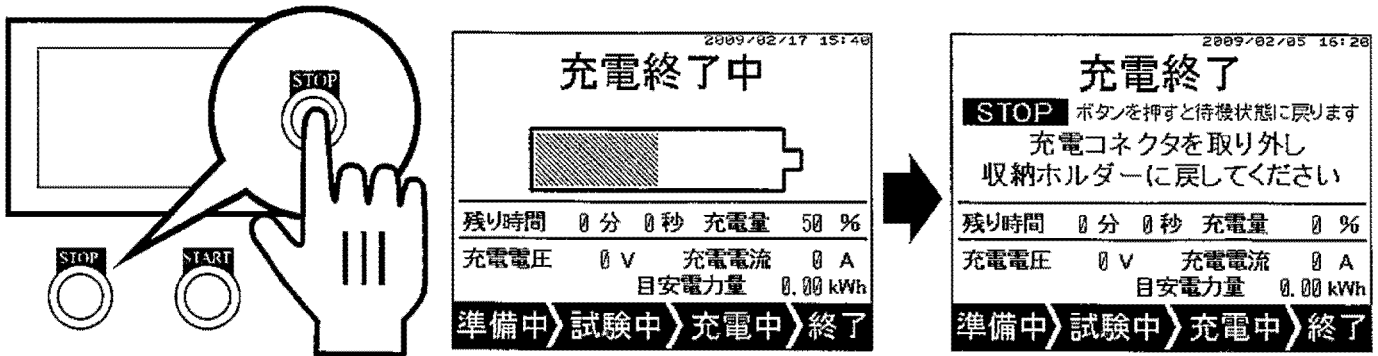
知っておいて頂きたいこと

1. 充電時間は、最大値(255分)に設定されており、自動終了します。
2. 充電を更に多くしたい場合は、1回目の充電終了後さらに「START」ボタンを押して2回目以降の充電を行ってください。
3. 充電時間は、車両からの指示に従い決定されます。
4. 車両との通信がうまくいかない場合は、異常発生表示となります。

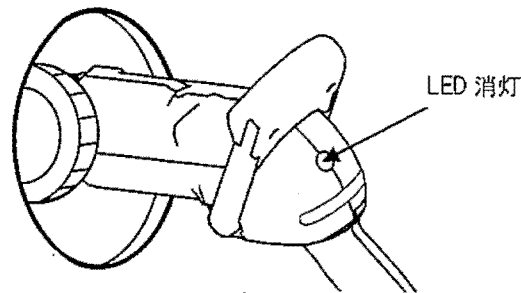
※ パラメータを変更したいときは、P15の「パラメータを変える」を参照してください。

⑨ 充電の終了

- (1) 充電を途中で強制終了させたいときは、「STOP」ボタンを押します。
 (2) 充電が終了すると『充電終了』画面になります。



- (3) 充電コネクタのLED が消灯します。



- (4) 車両から充電コネクタを外します。
 グリップ部を持った状態で、レバーを青いラインが見えなくなるまで下げ、充電コネクタを車両側ソケットから取り外します。
 ※動きがスムーズでない場合、一度戻してください。
- (5) 充電コネクタを収納ホルダーへ戻します。
- (6) 降雪対策カバーを下げて、「カチッ」と音がするようにロックさせます。
- (7) 車両の充電ソケットを戻します。
- (8) 充電が終了または、「STOP」ボタンで終了の場合は、「STOP」ボタンが点灯します。
 ・再度、「STOP」ボタンを押しますと『認証待ち』画面に変わります。
 ・この状態で、タッチパネルは、操作なしで3分放置しますと、省電力モードとなり、バックライトが消灯します。

注意) 充電終了の条件

1. 車両からの充電許可信号が止まった。
 2. 最大充電時間(パラメータ、車両からの指示)が経過した。
 3. 車両からの最大充電電圧の指示を超えた。
 4. 「STOP」ボタンを押した。
 5. 充電器のエラーが発生した。
 6. 「非常停止」ボタンを押した。
- *上記 3,5,6 の場合は、異常発生画面になります。